

2026年JAF四国ダートトライアル選手権第1戦
2026年JMRC四国ダートトライアルシリーズ第1戦

アドバントライアル2026

主催：チーム玉藻 (T.T.)
場所：三好グラベルパーク

開催日：2026年4月19日
レポート：JMRC四国 広報担当
写真協力：ゆきねえ☆ (競技車両写真)

PN+クラスは全日本ジムカーナドライバーの一色健太郎選手が優勝
SD1クラスは谷芳紀選手、SD2クラスは梶田昌弘選手が優勝

2026年の四国ダートトライアル選手権の開幕戦となるアドバントライアル2026がチーム玉藻の主催で、開催された。四国のダートトライアル選手権は昨シーズンまで、長きにわたって香川スポーツランドを中心に開催されてきたが、コース公認等の関係で香川スポーツランドでの継続開催が困難となるなか、今シーズンからは関係者の尽力によって新たにダートトライアル競技コースとして整備された三好グラベルパークを中心に開催されることとなり、その「こけら落とし」となった開幕戦は、近畿ダートトライアル選手権、そして、地元のイベント「三好くるまつり」と同時開催となり、多くの人々で賑わった。

PN+クラスには全日本ジムカーナドライバーの一色健太郎選手が参戦。車を借りてのダブルエントリーであったが、第1ヒートをリード。第2ヒートはタイムダウンながらも第1ヒートのタイムで優勝を決めた。2位には近年はラリードライバーとして活躍している栗村浩之選手が入った。SD1クラスは谷芳紀選手が第2ヒートで圧巻の走りを披露し、逆転で優勝。昨シーズンの最終戦で優勝したラリードライバーの松岡竜也選手が2位となった。SD2クラスの第1ヒートをリードしたのは中国地区から参加の丸本光選手。しかし、第2ヒートで梶田昌弘選手が本領を発揮して逆転で優勝。更に橋本充弘選手が2位に入り、丸本選手は3位となった。

今回のイベントにはラリーやジムカーナを主戦場に行っているドライバーや他地区からの参加もあり、クローズドを含めて32名のエントリーと近年にはない参加者を集め、新コースの関心の高さが伺えるイベントであった。



PN+クラス優勝の一色健太郎選手



PN+クラス2位の栗村浩之選手



PN+クラス3位の山之内一真選手



SD1クラス優勝の谷芳紀選手



SD1クラス 2位の松岡竜也選手



SD1クラス 3位のチャモロ選手



SD2クラス優勝の梶田昌弘選手



SD2クラス 2位の橋本充弘選手



SD2クラス 3位の丸本光選手



クローズドクラス優勝の福原正芳選手



PN+クラス表彰



SD1クラス表彰



SD2クラス表彰



クローズドクラス（選手権対象外）表彰



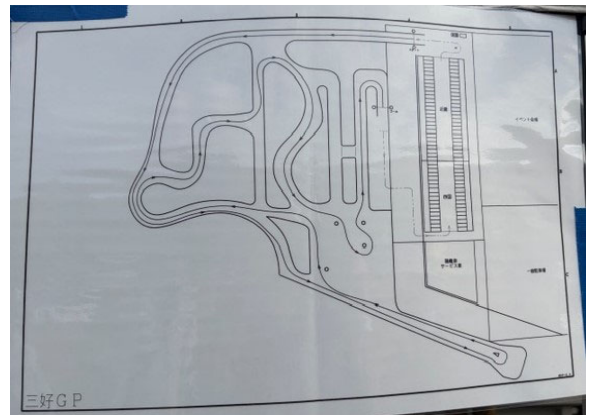
合同開会式の状況



パドックの状況



競技コースの状況



コース図



完熟歩行の状況



完熟歩行の状況